

< 都市住民等との交流を実施している事例 >

都市住民との交流を目的とした水田オーナー制度の開設

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山口県長門市上安田 <small>ながとしかみあんだ</small>			
協定面積 16ha	田(99%)	畑(1%)	草地	採草放牧地
	水稲	果樹		
交付金額 213万円	個人配分			45%
	共同取組活動 (55%)	役員報酬		7%
		事務会議費		7%
		水路・農道維持管理費		9%
		多面的機能を増進する活動		14%
	体制整備に向けた活動費等		18%	
協定参加者	農業者 10人			

2. 取組に至る経緯

本集落内には源氏ホタルの生息地や西国一の守護大名であった大内氏ゆかり縁の史跡があり、また、近くに依山温泉があるなど観光客の訪れがあるものの、集落住民との直接の触れ合いはあまりなかった。また、高齢化の進行とともに集落内の活力が失われつつあった。

そのような状況の中、第二期対策に取り組むにあたり、都市住民に自然豊かな田舎を知ってもらい、同時に農業体験を味わいながら農業に対する理解を深めてもらうとともに、集落内外の活性化に繋げようとの思いから、隣の下安田集落と協力して、水田オーナー制度を実施することとなった。

3. 取組の内容

まず、平成18年度に水田オーナー制度の県内の先進地を視察した。

その後、平成19年度から、上安田集落で水田オーナー制度をスタートした。

制度の運営は、隣の下安田集落と共同で行うこととし、下関市や宇部市方面から4家族16名が田植え・ソバ播種・稲刈り・収穫祭・ソバ打ち・しめ縄づくり体験へ参加した。

平成20年度からはさらに、隣接の上政集落も加わり、合計3集落の連携に発展し、9家族が参加するようになった。



水田オーナー制度（稲刈風景）



水田オーナー制度（収穫感謝祭）

[集落の将来像]

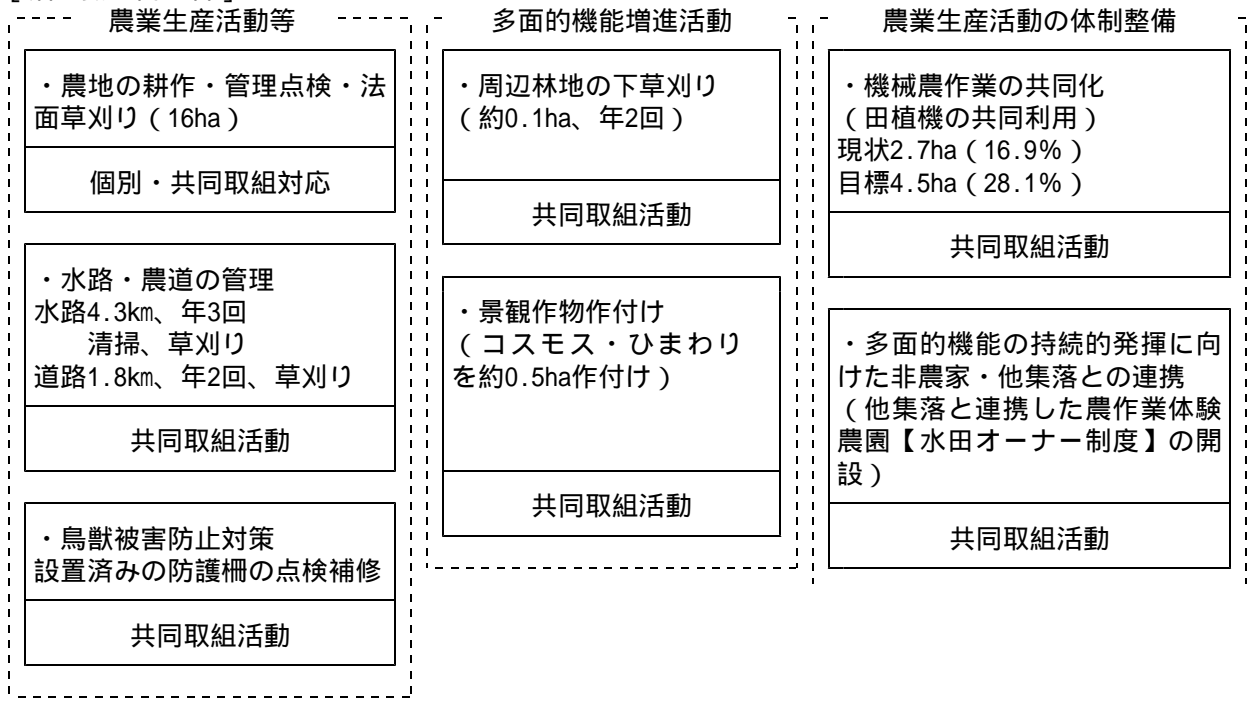
- ・高齢化の進行に対応するため、機械利用組合を設立し、水稻の基幹作業の共同化を進める。
- ・近隣集落と連携して、景観作物の作付けや鳥獣害防止対策及び都市住民との交流活動を実施し、集落を活性化させる。



[将来像を実現するための活動目標]

- ・話し合いを進め、既存の農機具の有効活用を図り、機械利用組合を設立する。
- ・集落内外の史跡等を活用し、近隣集落と連携して都市住民との交流活動を実施する。

[活動内容]



集落外との連携

下安田集落、上政集落と連携して農作業体験農園を開設し、都市住民との交流を図るため水田オーナー制度を実施する。

(連携の内容)

オーナー田：上安田集落 5 a、上政集落 5 a

オーナー制度の各種行事については3集落協同で実施

4 . 取組による変化と今後の課題等

水田オーナー制度による都市住民との交流は、集落住民の大きな励みになり、隣接集落との連携も深まった。

今後は、できる範囲で水田オーナー制度の取組面積を増やしていきたい。

[平成20年度までの主な成果]

良質米の生産と農作業の効率化の推進のために田植機の共同利用の促進を図る。

(当初2.7ha、目標4.5ha、H20実績4ha)

多面的機能の持続的発揮に向けた他集落との連携

・景観作物の植栽 (H20実績 上安田・下安田集落 50a)

・水田オーナー制度の実施 (H20実績 上安田・下安田集落 5a、上政集落 5a)